



からしだねの由来 マタイ 13章 31節、マルコ 4章 30節、ルカ 13章 18節

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会  
編集・広報委員会  
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3  
〒807-0025  
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354  
第 422 号

## 「絶えざる御助けの聖母」の祝日を心にとめて

フランシスコ・アシジ 谷口尚志

先日、わたしたちは聖霊降臨をお祝いしました。聖霊降臨によって明らかとなったことは教会の存在意義と使命です。主イエスは聖霊降臨の出来事の前、すなわち天に昇られる前、「あなたがたは行って、すべての民をわたしの弟子にしなさい。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる」(マタイ 28・19~20)と弟子たちに呼びかけ、世界中にご自身によって完全に明かされた神の意志を伝えることを望まれました。教会はそのための道具です。主イエスは道具である教会がふさわしく用いられることを望まれていますので、その主イエスの思いを見落としていては元も子もありません。まさに教会の存在意義と使命とを確認し、神の意志を伝えるためには主イエスの思いと結ばれていることが大前提なのです。

さて、わたしたちは伝統的に5月を聖母に捧げる一ヶ月として過ごしましたが、そもそもカトリック教会にとって聖母への信心はなぜ必要で、かつ重要なのでしょうか。紛れもなく、それは聖母こそが誰よりも神の意志を尊重した方だからです。教会を形作るわたしたちは、この方を模範とすることによって主イエスの望まれていることが見えてくるのです。聖母への信心は主イエスの望みを実現していくために不可欠であり、それゆえに個々人と共同体の信仰を深め、すべての民に福音を宣べ伝えるための支えとなる大切なものなのです。何年前かに一度、この水巻教会の保護の聖人について話したことがあったかと思えます。その保護の聖人こそが聖母であり、「絶えざる御助けの聖母」と呼ばれています。6月27日が祝日にあっているため、水巻教会にとって大切な記念日とも言えます。聖堂に入って正面の右側にこの聖母のアイコンがあります。描かれているのは大天使ミカエルと大天使ガブリエルと聖母と幼子イエス。それぞれの大天使は主の受難の際に使われた十字架と釘、胆汁が入った容器とわき腹を貫いた槍、酸いぶどう酒に浸すための海綿の刺さった茎を持ってい

信徒総会を終えて	2面
旅の話(15)	3面
侍者だより・今月の聖人	4面
幼稚園から	5面
がんば3・血塗れ王女	6面
委員会等報告	7・8面
お知らせ・淡路島の玉ねぎ	8面

ます。このような描写から分かることは、聖母は主イエスが幼い頃から受難と死について悟っていたということです。わたしたちが主イエスの受難と死を黙想する時、この聖母の姿は大きな支えとなります。このイコンの詳細な意味についてはネットにて検索してみたらよいでしょう。

聖母は神の計画に信頼を置き、主イエスの受難と死を受けとめました。だからこそ、いつの時代も人類を完全に救おうとされる神の計画に立ち返るために全人類が回心することを呼びかけておられます。

水巻教会の存在意義を確認し、その使命と向き合うためにも保護の聖人である「絶えざる御助けの聖母」への信心を深めながら歩めますように。



## 信徒総会、開かれる

### 小教区委員会規約、選出規定を改訂

### 教区財政見直し等の確認

5月28日ミサ後、「信徒総会」が開かれました。この日総会に参集した信徒は52人。

総会は谷口神父様の「(教会の)価値のつながりを聖霊の力を借りて実のある総会にしていきましょう」という言葉で始まりました。

続いて議案に入り、22年度の収支報告、監査報告へと続きました。これについては監査を担当した田中拓さんが「正しく会計処理が行われていることを確信した」と説明しました。

第1号議案として、小教区委員、専門委員長、代表委員、地区代表委員、小グループの代表者が紹介されました。なお、現在北九州地区宣教司牧評議員は、小教区委員長の上川直子さんが兼任していますが、改訂された規約の発効後は小教区副委員長が兼任することになっています。

2号、3号議案として23年度の行事計画・予算案を財務委員長の坂本初美さんが説明されました。

4号議案は水巻小教区委員会規約と選出規定が改訂されたことと、福岡教区宣教司牧評議員会の発足に伴い、北九州地区宣教司牧評議員会が発足したことが説明され、それぞれの規約を常時掲示しておくこともあわせて説明されました。

最後にその他の報告として園児増加に伴う園庭の拡大と門扉の撤去(今後、車両はシャッター側からの出入りのみとなる)。9月23日の巡礼旅行はアンケートを集約した結果、「萩カトリック教会と萩キリシタン殉教公園」に決まりました。今後、巡礼先に関する勉強会を通して準備を行っていきます。

## 旅の話 (15)

岩本光弘

色々な人とのつながりで機会に恵まれ、聖書の旅をすることができましたが、今でも印象強く残っているところはいくつかあります。一番思い出すのが初めて聖書の旅をしたときに訪れた「シリアのアンティオキア」今は「アンタクヤ(ハタイ)」と言われる町のことです。

この時の旅では、この町から聖書の旅が始まったのですが、ここは使徒言行録に出てくる大切な町でした。キリストの弟子たちが迫害を受けて逃げ込んだこの町のことは使徒言行録11章に書いてあります。パウロもこの町から宣教の旅に出発しました。

今は人口が周辺を含めて20万人位の町ですが、私が行ったころ町の中心は水巻町程度になっていて大きなビルなどはありませんでした。ローマ帝国の時代にはローマ、コンスタンチンノーブル(今のイスタンブール)エルサレムと並んで4大都市と言われていたそうです。

オロンテス川の河口にあってエーゲ海からの船も直接接岸できて、エジプトのクレオパトラ女王もローマからエジプトに帰国する旅の途中で泊まったそうですが、この町はそれから2000年の間に衰退して小さな町になってしまいました。衰退した原因は二つあります。

一つはオロンテス川が運んでくる土砂のために港が埋まってしまい、海から何キロメートルも離れてしまったことです。エーゲ海への出口としての機能がなくなり海運業が衰退したのが原因だと言われています。

もう一つの大きな原因は地震でした。ガイドの話によると2000年の間に4回の大きな地震によって町が崩壊したということでした。ここへ行ったときは活断層があるとは知りませんでしたので、火山もないのにそんな地震があったのかと不思議に思ったのを思い出します。

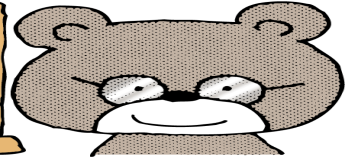
2月の初めにトルコで大きな地震が発生してたくさんの犠牲者が出ました。今回の地震報道でこの地域に「東アナトリア活断層」があり、昔から地震が繰り返されているという報道を見てその時のことを初めて納得しました。テレビの報道を見ると私が行ったときに無かった大きなビルが沢山建っていて、そのビルが倒れていました。このようなビルは耐震対策がされてなかったと報道されています。

アナトリア高原などで民家を見ると、二階建ての上がテラスになっている家が沢山ありましたが、ほとんどの家が下の階の柱の部分から鉄筋が上に伸びていました。どうしてあのようにしているのかとガイドに聞くと、お金が出来たら上の階を作るためですという説明でした。今回の地震のテレビ報道をよく見てみると、以前からあったのではないかと思われる二階建てくらいの家は被害を免れているようです。このような家は昔から地震対策の教訓が守られているのだと私は思っています。

この町の西にある山の斜面には「聖ペテロ洞窟教会」があり、使徒言行録のころの姿が残っています。この教会に行ったとき聖書に出てくる聖人たち(ペテロ・ルカ・マタイ等)の多くがこの洞窟に来ていた話を聞いて、聖書を初めて身近に感じるすることができました。

## 侍者だより

遠賀地区 パウロ・濱村 誠二



四旬節も終わり聖週間が始まり、侍者は揃うのかと心配していましたが、侍者メンバーのみんな、頑張ってきてくれました。特に聖木曜日からご復活徹夜祭までは、夜なので来るのも難しかろうと思っていましたが、いざ来てみればみんなニコニコ笑顔で、心のどこかで霊的な喜びを感じていたように思えました。

個人的に大祝日に好きなのが「献香」です。子供の頃、親に「香のにおいはイエス様のにおい」と聞かされ、「香」の香りをかぐとイエス様は見えないけれど、一確かにいらっしゃるーと実感しやすいからです。司祭が祭壇の周りを献香する時に煙が立ち込めて天にも昇らんかとする様は、まさに聖なる場であり、私達がどなたを崇めているか理解し心を集中させるのを助けてくれます。

そんな「香」の香りがする中で今年は聖歌を歌うことができました。特に復活の続唱、恥ずかしながら私はこの歳まで知りませんでした。歌詞をたどればキリスト・イエス様がどれ程の愛でこの世を救って下さったのかを讃える歌で、あらためて感謝と希望に心は満たされ、感動しすぎて目にあふれてくる涙をこらえるのが大変でした。続いて福音を読まれた後、谷口神父様は説教の中で「神様は感謝されたいんです」の言葉が印象に残り、祈りを唱える時は併せた手にも力が入りました。

この時に気が付いたのです。侍者をする時に気にかけていることが一つ私にはあります。それはきちんと手を合わせることです。

もう十数年も前になります。水巻教会で侍者をされていた神学生の姿勢、特に合わせた手の形が目には焼き付いてしまったのです。その清い姿を見て、自然に私も下ろして組んでいた手を胸元まで上げていました。それともう一つ。谷口神父様が「十字架のしるしは信者しかできない特別なしるしです」と話されたことです。これらの事は心からの感謝の気持ちがあれば、自然形で表れる…と。御復活祭から興奮が冷めない今、この時を神様に感謝して御ミサに与りたいと思います。



## 今月の聖人 25日 聖プロスペロ(レッチョ)司教 ?-466年

プロスペロは、自分の財産をすべて貧しい人びとに与え、司祭となってキリストの教えに徹底して従いました。イタリアのレッチョの司教として22年間務め、市民たちを導き、彼らの父として尊敬されていました。彼は生前に自分が亡くなったときは、レッチョ市の城壁の外の目立たない所に教会を建て、自分の遺骸をそこに埋めるように頼みました。しかし、市民たちは、プロスペロを市の守護の聖人とし、現在は市の広場近くにある教会に移し記念しています。



## 水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 6月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

### 〈水巻聖母幼稚園〉

先日、春の遠足でグリーンパークに行きました。保護者の方と一緒に体操したり、遊具や広場で遊んだり、楽しい時間を過ごしました。お天気にも恵まれ、良い思い出を作ることができました。今から暑い日が続くので、熱中症に気を付けながら、子どもたちと過ごしていきたいと思います。

5月は聖母月ということで、子どもたちとマリア様にプレゼントするための「心の花束」の準備をしています。新しいことに挑戦する、お友達に優しくすると子どもたちが話してくれました。これからもたくさんの愛に包まれて、成長してほしいです。

水巻聖母幼稚園 TEL : 093 201 9559



### 〈マリア子どもの家〉



人参を抜いた後に肥料を入れて耕し、5月の連休の前に、ナスとキュウリ、トマトの苗を植えました。連休の後には、スイカも植えました。昨年のように、甘いスイカができればいいなあ。ナスは、給食室でお味噌汁に入れてもらいましょう。

5月16日、枝豆とオクラの種を蒔きました。「これが、枝豆の種です。」と、一人ひとり手の平に載せてもらいました。枝豆はクリーム色の丸い大きな種で、オクラは少し緑がかった濃いグレーの、丸い中くらいの種でした。又、チューリップの球根を抜いた後に、ヒマワリとアスターの種も植えました。来週は、お部屋の中で芽を出している朝顔を植える予定です。

畑は、すっかり夏の色になってきました！

TEL : 050 5212 7759  
水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家

園長 水口 由美  
教職員 一同





3年にも及びコロナ禍も一段落、社会がやっと平静さを取り戻しつつあります。

当教区でも、コロナ禍で沈滞した小教区の活動の強化に乗り出しました。当教会でも教会内の小グループの活動の強化をうたい、「信徒総会」においては一部の専門委員長、小グループの代表者がそれぞれの活動の紹介やアピール等を行いました。

そこで「からしだね」でも改めて教会活動に携わっている小グループを紹介していくように考えています。前回の紹介が「がんば2」だったので、今回は「3」(なんと単純な)。前置きが長くなりました。ではまず広報委員会からいってみましょう。

### 【広報委員会】

広報委員会は、専門委員の一環として位置づけされています。

主とした役割は、月一回の「からしだね」の発行。作成した「からしだね」をネット上の「からしだね専用ページ」に掲載すること。

「からしだね」の創刊は1987年。昭和時代が創刊ですから35年以上続いた小教区報です。ですから「からしだね」は教会の歴史をつづつてもいるのです。「からしだね専用ページ」は、2007年から作成を始めました。「からしだね」を水巻教会の信徒さんを中心に、他教会、あるいは広く宣教のために公開してはとの考えからでした。

時折ですが、励ましのメールをいただいたり、「からしだね」を見た公共施設が十字架の作成経緯を尋ねてきたり、という効果が実際に出ています。

このところちょっと変わったことと言えば、コピー機の登場。旧印刷機では写真の陰影がうまくいかず、いつも四苦八苦で調整していましたが、新しいマルチなコピー機が入って印刷の質が著しく向上しました。印刷の質だけではなく記事の質も上げていきたいものです。一度広報室をのぞいてみませんか。



### 血塗れ女王 イングランド女王メアリー1世

という見出しに「ン？」と新聞記事に釘付けになり、この名前を冠したカクテル「ブラッドマリー」の存在を知った。早速お酒の知識が豊富でご自身も大のお酒好きの知人に連絡して、このカクテルの試飲会を催す事になった。材料が揃った～とのお誘いを受けてご自宅を訪問。奥様と3人で、ウオツカにトマトジュース、ラムの果汁を搾り入れて、真っ赤な血のようなカクテルの完成に、ちびちびと舐めるように飲む奥様と私。グイッと飲み干す知人。

プロテスタント弾圧の血塗れ女王の話がお酒のツマミになった事は言うまでもなく～ほろ酔い気分の帰り道、駅まで歩く頬に風が心地よい。コロナ禍も落ち着きを取り戻し、日常の交わりが再開されつつある今日この頃、初夏の余暇をこんなふう知人を訪ねてみるのもオツなものではないでしょうか。

福嶋 東三子

# 委員会等報告

2023年5月分

## 5月度小教区委員会 5月14日

### 1. 行事予定

- ・6月 4日(日) 小教区委員会
- ・6月 11日(日) 教会学校
- ・6月 18日(日) 18時～ベトナム語ミサ。
- ・6月 25日(日) ころの会・教会学校

### 2. 議題

#### (1) 各委員会報告

##### ①広報委員会

・「からしだね」について。5月28日(日)は信徒総会があることを踏まえ、5月21日(日)に発行作業をほぼ終了させておく予定。

##### ②典礼委員会

・以前、新しいミサの式次第についての研修会において強調されていたが、〈回心の祈り〉の冒頭の「全能の神と・・・」と、〈信仰宣言〉の冒頭の「天地の創造主・・・」(“使徒信条”の場合)は司式者のあとに続けて唱えるのではなく、同時に唱え始めることを意識するようにお願いしたい。

##### ③営繕委員会

・聖堂の窓上部にある蛍光灯の一つを交換するためにカバーを外したが、蛍光灯では全体的に暗さが目立つため、今後は全体をLED照明に変更することになり、そのままの状態にしている。作業は随時行っていく。

##### ④納骨堂委員会

・現在、納骨室はほぼ全室が利用されている状況となっている。

##### ⑤冠婚葬祭の会

・7月16日(日)14時より、結婚式(みことばの祭儀にて)が行われる。兼ねてより

の打ち合わせどおり、奉仕して下さる方に準備や進行のための協力をお願いしたい。

(2)「教区預かり金申出書」および「教区預かり金払戻し請求書」に基づく実施について

・教区本部より正式に申請書類が届いたことを受け、信徒総会の際にあらためて信徒への説明を行ったうえで実施する方向。具体的には現在積み上がっている改築献金のうちの200～230万円を預けることとした。

(3)5月28日(日)のミサ後に行われる信徒総会について

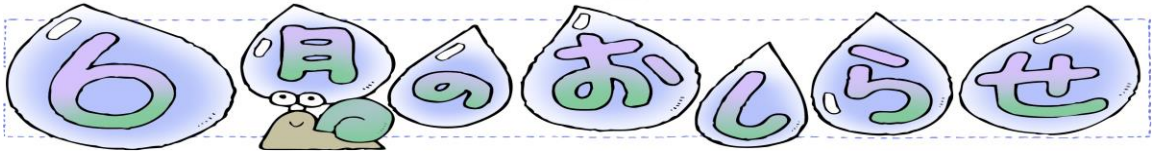
・総会の内容はおおまかに次のとおり。①年間スケジュールの確認。②2022年度収支報告と2023年度予算案の承認。③各委員会と小グループの紹介(信徒各人の教会活動への行動的参加を促すため)。④小教区委員会規約を改訂したことに伴う水巻教会組織更新の報告(改訂された小教区委員会規約本文は総会日以降より常時掲示しておく)。⑤教区宣教司牧評議会および北九州地区宣教司牧評議会の発足について(福岡司教区および北九州地区宣教司牧評議会規約の本文は総会日以降より常時掲示しておく)。⑥教区事業(資産運用)への協力に関する報告を行う。

#### (4) その他

・5月21日(日)のミサ後に「ころの会」主催で淡路島のたまねぎ試食会を行う計画(「ふれあい会」に協力をお願いしている)。

試食後、所望する方にお渡しするにあたっての献金を募るが、それを改築献金に充てる。  
 ・『典礼聖歌集』を毎週持参するのは大変なので聖堂に置かせてもらえないかとの声を受け、聖堂には常備しているものがあるので、それを使用させていただくように促すこととした。

・「からしだね」を受領した際にボードの名前欄に〇を書くことになっているが、果たして機能しているのか。ミサ後のお知らせの機会に逐一、伝えるべきではないか。司会者ではなく、関わっている委員会や専門委員それぞれがお知らせするようにする。



### ★特別献金★

5月14日 世界広報の日献金  
 20,559円  
 ご協力ありがとうございました。

### ★「がんば3」が始まりました★

以前シリーズで掲載していた、「がんば」のシリーズ3作目を今月号から始めました。6面に載せていますのでご覧ください。



### 5月21日 淡路島の玉ねぎ

玉ねぎの収穫の季節に入り、信徒の岡本さんのご子女の嫁ぎ先である南淡路島からたくさんの玉ねぎが送られてきました。

岡本さんはこの美味しさを多くの方と共有したいとの思いでミサの後、「こころの会」主催の試食会を実行されました。

「ふれあい会」のご協力で、輪切りにされた玉ねぎのステーキが次々に提供されました。熱せられた玉ねぎは透き通り、噛む度に甘さが口いっぱいに広がります。甘いねえ～の声があちこちで聞かれた後は、80個の大玉ねぎが自由価格で販売されました。こころの会より、「皆さまからいただいた感謝の気持ち(売上金 16,336円)はすべて改築献金に充てさせていただきます」とのことでした。

広報委員 記者 福嶋

